

競技上の注意

1. 競技規則と競技方法

- 1) 本記録会は世界パラ水泳連盟競技規則及び令和5年度日本身体障がい者水泳連盟水泳競技規則（2023WPC水泳競技規則一部適用）および令和5年度日本水泳連盟競泳競技規則、本体要項に基づいて行う。
- 2) 競技方法は身体・知的障がいの混合でエントリータイムでのタイムレースとする。但し、エントリーの都合上、一部のレースを男女混合で行う。
- 3) 進行の都合上障がい区分および性別に関係なく50m競技で7分、100m以上の競技で14分の制限タイムを設け、これを超過したときはレースを止めることがある。
- 4) 水着の規定に反する水着を着用の場合は、その記録は公認とならない。

〈リレー種目について〉

- ① 身体障がい者クラスのリレーについてはブロック対抗ミックスリレー28ポイント・38ポイントで編成された選手だけが出場できる。それぞれ1チームまでエントリーできる。
- ② 知的障がいクラスのリレー種目は、各府県2チームまで選抜チームを編成できるとし、自動的にエントリーされる。区分は男子・女子・混合（男子2名/女子2名）のみとし、区分を問わず合同レースで行う。

〈視覚障がい選手について〉

S11クラスの選手は黒く塗りつぶしたゴーグルを着用し必ずタッパーをおくこと。また、レース終了後に審判員よりゴーグルチェックを受けること。

2. スタートについて

- 1) スタートは1回とし、やり直しは行わない。他の選手にフォルススタートがあった場合も出発合図員の号砲によってスタートすること。

〈スタートの方法〉

審判員の短い笛の合図で準備、長い笛の合図でスタート位置に着き、「テイク・ユア・マークス」の合図を待つ。背泳ぎ以外で水中スタートする場合は、短い笛で自レーンもしくは近い方のプールサイドから入水し、自レーンに移動する。飛び込みスタートの時は、「テイク・ユア・マークス」の合図の前にスタート台の前縁に足の指をかけて号砲を待っても構わない。ただし、同じ組で水中スタートと飛び込みスタートの選手がいる場合、短い笛と長い笛の間隔が長くなることがあるので、飛び込みスタートの選手はリラックスして待つこと。競技の進行上、水中スタートする選手でプールサイドから入水する選手は自分の選手紹介が終わり次第、速やかにプールサイドへ移動し入水準備をすること。

3. 競技順

- 1) 競技は、大会プログラムの競技順序で行う。

4. 招集

- 1) 招集は、競技開始10分前より行う。
- 2) 招集時間に遅れた選手は棄権とみなす。
- 3) 棄権の場合は、速やかに「申請用紙受付」に届けること。

5. 競技エリア内入場許可、介助申請

- 1) コードオブエクセプション (CoE) に「A」「T」「Y」がある選手以外で、介助が必要な選手は申請が必要である。当該レース30分前までに、理由を記載した許可申請書を「申請用紙受付」へ提出すること。内容によっては認められないことがある。
- 2) 視覚障害のある選手でタッピングなどの介助を大会本部に申請する場合は、専用用紙を申請用紙受付へ提出する。
- 3) 申請書は「申請用紙受付」に備え付けている。

〈入退水やタッピング介助を依頼場合の免責〉

入退水介助を申請した場合、それによって生じたケガ等について大会本部および介助スタッフの責任を問うことはできない。タッピング介助も同様であり、タッピングの不手際により競技規則違反となった場合やケガをした場合も、大会本部およびタッピングスタッフの責任を問うことはできない。これは、本来このようなサポートを行う介助者は各選手において準備すべきものであるとの考えに依拠している。

6. 競技時間

- 1) 競技時間は競技進行により変更する場合があるので、各自で進行状況には注意すること。

7. 棄権・訂正について

- 1) 棄権およびプログラム訂正の受付は、「申請用紙受付」で行う。
- 2) 参加種目の変更や追加は認めない。印刷に誤りがある場合は、訂正用紙に必要事項を記入して速やかに提出すること。
- 3) 棄権およびプログラムの訂正は、競技開始1時間前までに提出すること。

8. 表彰

- 1) 表彰式は行わない。
- 2) 棄権、失格を除く参加者全員に記録証を与える。
- 3) 身体障がい・知的障がいの記録はマルチクラスによる順位付けを行い、第40回日本パラ水泳選手権大会でメダル授与をおこなう。また、ブロック対抗リレーについても優勝ブロックにメダル授与を行う。

9. 速報の掲示

- 1) 後日、連盟ホームページからダウンロードできるようにする。

10. ウォーミングアップについて

- 1) ウォーミングアップは9:15～9:50まで。但し、競技中の5・6レーンはアップ・ダウンを可能とする。
- 2) 使用するコースは、掲示に従う。

11. クラス分けについて

- 1) 会場でクラスについての競技観察を行う。クラス分け委員からの指示があれば、その指示に従い必要なテストを受けること。

12. その他

- 1) 更衣はプール更衣室を身体障がい者専用とし、アリーナ更衣室を知的障がい者専用利用とする。荷物の管理は各自で行い、紛失などの責任は負わない。
- 2) 事故等については応急処置のみとし、その他の責任は負わない。各自で十分注意すること。
- 3) ゴミは各自で持ち帰ること。ゴミ箱は設置していない。
- 4) プールサイド、更衣室以外では水着姿で移動しないこと。
- 5) 「ウエットゾーン」「ドライゾーン」のエリアを厳守すること。
- 6) アリーナ内は素足か靴下で移動し、上靴、サンダルを含む履物は履かない。
- 7) 撮影する場合は指定された場所のみとする。
- 8) 記録会の開催にあたって得た個人情報は大会運営以外には利用しないが、記録会プログラムの記載事項、記録、写真等は連盟のホームページなどで公開されることがある。
- 9) センター出入り口は正面玄関のみ。職員通用口の使用は不可とする。
- 10) センター敷地内は喫煙不可。隣のむれやま荘の喫煙所の使用は不可とする。
- 11) ご協賛の株式会社ゴールドウィン・味の素株式会社様より提供いただいた賞品を身体障がいの部・知的障がいの部ごとで、午前の部が終了次第、アリーナで抽選会を行う。